

令和5年度 おうとう病害虫防除暦

回数	散布時期	IRAC FRAC コード	散布薬剤	収穫前 使用規制	10a 散布量	対象病害虫	注意事項
1	休眠期 2月下旬～ 3月上旬	1	水 99 ℓ ガットキラー乳剤 1 ℓ	休眠期	100 ℓ	コスカシバ	○ <u>主幹部に限定し、手散布でたっぷり散布する。但し石灰硫黄合剤と混用できないので、単剤で防除を行う。</u>
2	発芽前 3月上中旬	— M2	水 90 ℓ Y-ハッテン(展着剤) 20 mℓ 石灰硫黄合剤 10 ℓ	発芽前	350 ℓ	胴枯病 カイガラムシ	
カイガラムシ類の発生園では、スプレーオイル30倍(休眠期)を散布する。							
3	開花始め 4月中旬	— 7	水 100 ℓ Y-ハッテン(展着剤) 20 mℓ フルーツセイバー 66 mℓ	前日	400 ℓ	灰星病 幼果菌核病	
4	落花直後 5月上旬	— M7 4	水 100 ℓ Y-ハッテン(展着剤) 20 mℓ ベルコートフロアブル 50 mℓ トランスフォームフロアブル 50 mℓ	7日 7日	500 ℓ	灰星病 アブラムシ類 ハマキムシ類 ウメシロカイガラムシ アメリカシロヒトリ	
5	5月下旬	3 3	水 100 ℓ オンリーワンフロアブル 50 mℓ ㊦ スカウトフロアブル 33 mℓ	前日 前日	500 ℓ	灰星病・炭疽病 褐色せん孔病 ショウジョウバエ類 カメムシ類	
品質向上『うるみ果防止・果肉硬度向上』のため、各品種ともに着色してきた状態でモーニングエース500倍液を単剤で散布する。							

回数	散布時期	IRAC FRAC コード	散布薬剤	収穫前 使用規制	10a 散布量	対象病害虫	注意事項	
6	6月上旬	7 4	佐藤錦収穫直前防除 (全園散布)		前日 前日	400 ℓ	灰星病 褐色せん孔病 カメムシ類 オウトウショウジョウバエ	○ 佐藤錦の収穫が間に合わない場合は、再度うるみ果実防止のために、モーニンググース 500倍を収穫初日から7日後に単剤で再度散布する。
			水	100 ℓ				
			フルーツセイバー	66 mℓ				
7	6月中旬	3 3	中晩生種収穫直前防除 (全園散布)		前日 前日	400 ℓ	灰星病・炭疽病 褐色せん孔病 ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	
			水	100 ℓ				
			⑩ オンリーワンフロアブル	50 mℓ				
8	収穫直後 7月上旬	— M4 4 23	水	100 ℓ	14日 7日 前日	500 ℓ	灰星病 炭疽病 褐色せん孔病 ウメシロカイガラムシ ハダニ類	
			Y-ハッテン(展着剤)	20 mℓ				
			オーソサイド水和剤80	125 g				
			トランスフォームフロアブル	50 mℓ				
			ダニゲッターフロアブル	50 mℓ				
9	8月上旬	M1+M4 1 25	水	100 ℓ	収穫後 14日 前日	500 ℓ	褐色せん孔病 アブラムシ類 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ ハダニ類	
			Y-ハッテン(展着剤)	20 mℓ				
			オキシラン水和剤	166 g				
			⑩ ダイアジノン水和剤34	100 g				
10	9月上旬	— 1	水	100 ℓ	21日	100 ℓ	ケムシ類	○ 主幹部を中心に、手散布でたっぷりと散布する。
			Y-ハッテン(展着剤)	20 mℓ				
			スミチオン水和剤40	125 g				

『農薬取締法・食品衛生法(農薬の残留基準)を遵守した栽培を・・・』

- 防除・除草剤散布を行う毎に、防除日誌に記帳を行いましょ。販売開始前には、防除日誌の提出を頂き適正防除の確認を行います。
- 防除暦に⑩と記入のある薬剤は、毒物劇物指定の剤ですので、購入時に印鑑を持参下さい。